

## 一般質問通告要旨（質問順）

### 1 荒井宏幸（一問一答）

- 1 本市観光の活性化について
  - (1) 市長のトップセールス
  - (2) クルーズ船の見通しについて
    - ア 令和8年度の寄港予定数とその特色について
    - イ 今後の寄港回数の見通しはどうか。
    - ウ 今後の誘致の方向性について
  - (3) 岩室温泉への誘客
  
- 2 衆議院議員選挙から気づいたことについて（選挙管理委員会委員長）
  - (1) 東区の公設掲示板配布地図の記載誤りにについて
  - (2) 選挙割について
    - ア 投票所来場者カードの周知
    - イ 選挙割が使える本市の施設について
  
- 3 新津鉄道資料館について
  - (1) 没入感を高める施設へ
    - ア 本物展示車両で駅弁を食べてみる。
    - イ 運転シミュレーターの活用
  - (2) 企画展の開催について

## 2 志賀泰雄（一問一答）

- 1 震災復興の取組と液状化に強いまちづくりを
  - (1) 国への要望の進捗
    - ア 被災住宅用地特例適用期間延長の見通し
    - イ 液状化対策への支援進捗
  - (2) 住民説明会と意向確認について
    - ア 自治会単位の説明会の参加状況とその受け止めはどうか。
    - イ 今後の持ち方と機運醸成について
  - (3) 液状化対策補助制度創設について
  
- 2 にいがた2kmのまちづくり加速に向けて
  - (1) リノベーションまちづくりについて
    - ア 目的について
    - イ リノベーションスクールについて
  - (2) 家守の取組について
    - ア 家守育成
    - イ リノベーションまちづくり戦略について
  - (3) 公共空間の活用と官民連携
    - ア ウオーカブルまちづくり社会実験について
    - イ ウオーカブルなまちづくりに向けた課題と対応
  
- 3 居住者目線の市営住宅に向けて
  - (1) 現状とその対応について
    - ア 入居者の状況について
    - イ 福祉的な配慮や連携について
  - (2) 防犯カメラ設置について
  - (3) 目的外使用の促進
    - ア 空き室状況とデメリットについて
    - イ 目的外使用を積極的に進めるべき。
  - (4) 将来ストックを見据えた進め方
    - ア 将来ストックを踏まえた施設整備について
    - イ 民間活力導入を積極的に検討するべき。
  
- 4 よりよい全員給食に向けて（教育長）
  - (1) 中学校全員給食の現状
  - (2) 食物アレルギーへの対応
  - (3) 不登校傾向の児童生徒への対応
  - (4) 小学校の給食無償化への対応について

## 5 地域活動の充実に向けて

- (1) インフレ局面における地域活動支援への対応
- (2) 地域活動補助金の見直しについて

### 3 武田勝利（分割質問）

#### 1 アリーナ建設について

##### (1) アリーナ建設の判断について

ア 県立での建設を要望していたのではないのか。

イ アリーナを含む白山エリアのスポーツ施設の判断は、スポーツ施設再編基礎調査の結果を踏まえて判断としていたが、なぜ基礎調査報告書が出る前にアリーナ建設の判断をしたのか。

ウ アリーナの規模は8,000人前後としているが、どのような検討による判断によって8,000人前後の規模と打ち出しているのか。8,000人規模のアリーナは事業費が莫大であるとの認識はあるか。

---

##### (2) サウンディング型市場調査のやり方について

---

(3) 全国でアリーナ建設が相次ぐ中、イベント誘致の競争が既に始まっているが、稼働率の確保、収益確保の見通しはあるのか。

---

(4) 全国で収容人数8,000人、全天候型、サブアリーナを配置している同様のアリーナの事業費はどれだけか。

---

(5) サブトラック、雨覆いトラックの機能はどのように維持されるのか。

---

#### 2 連節バス、萬代橋ライン、公共交通機能の検討について

(1) 全国の自治体の中で連節バスを購入し交通事業者に貸与している自治体はあるか。近年、全国の交通事業者が購入している連節バスの購入金額はどれだけか。

---

(2) 連節バス車両更新計画策定事業費が全額繰り越された理由は何か。

---

(3) 萬代橋ラインの青山ー市役所区間はバス乗車空席率が高いと考えるがどうか。

---

(4) 青山で乗り換える大堀線、小新線などの郊外路線の減便率が高いことをどのように考えるか。

---

(5) 今後検討が必要な白山エリアでの交通機能の確保、駅南方面の連節バス運行の社会実験など、新たなステージの公共交通システムの構築と関連して、萬代橋ラインの機能を再検討する必要があると考えるがどうか。

---

#### 3 国民健康保険料、子どもに係る均等割保険料について

(1) 新潟市国民健康保険運営協議会答申での保険料率の改定に当たっては、低所得者層に配慮し、慎重に検討することをどのように受け止めているか。

(2) 国民健康保険料の滞納状況、答申を踏まえた保険料引下げ額について

---

(3) 低所得層に配慮して引き下げるのならば、均等割を大きく引き下げる必要があるのではないか。

---

(4) 子どもに係る均等割保険料の廃止と国民健康保険事業への国庫負担引上げについて

---

(5) 市国保財政状況は、令和 11 年度まで国民健康保険料の引上げは行わなくてもよい状況と考えるがどうか。

#### 4 西脇 厚 (一問一答)

- 1 街区単位の液状化対策について
  - (1) 自治会単位の説明会の現状について
  - (2) 今後の進め方について
    - ア 意向確認について
    - イ 試験施工について
    - ウ 同意取得に向けた今後の進め方について
  
- 2 地域クラブについて (教育長)
  - (1) 学校施設の利用の現状について
  - (2) 学校施設の利用範囲の拡充について
    - ア 利用施設の整備について
    - イ 施設整備の今後について
  
- 3 地域の移動手段について
  - (1) 公共交通と地域主体の移動手段について
  - (2) 地域での移動手段と本市の関わり方について
  
- 4 新潟県内の食肉センター再編について
  - (1) 本市を含めた食肉センターの現状について
  - (2) 今後の方向性について
  - (3) 本市の役割について

## 5 美のよしゆき（分割質問）

### 1 空き地対策について

- (1) 新潟市空き家空地対策協議会の提言を受けての考えは
  - (2) 提言では空き家問題の解決には、空き地問題を考える必要があるが、本市は空き地対策をどのように進めているか。
  - (3) 国が示す民間力を生かした空き家・空き地対策に対して、市はどう協力していくのか。
- 

### 2 地域活動補助金、お祭り関連について

---

### 3 地域外から稼ぐ要となるにいがた2km戦略について

- (1) にいがた2km戦略の現在地をどう捉えているか。
  - (2) 新潟駅から万代、古町へと人の流れをつくるためにまといを活用してはどうか。
  - (3) これからのまちづくりに欠かせないのが、若手職員の人材育成である。今後どのようにあるべきか。
- 

### 4 新潟市役所の今後について

- (1) 国と市職員の関係構築
  - (2) 関係を長くつなげる人事異動
  - (3) これからの本市の職員像はどのようにあるべきか。
- 

### 5 駅高架下空間の活用について

- (1) 緊急車両の通行による効果について
  - (2) タクシー等の夜間通過について
  - (3) 高架下自転車道の整備について
  - (4) これからの技術者育成について
- 

### 6 文化とスポーツについて

- (1) アニメを産業と捉えた振興について
  - (2) 本市の文化スポーツのこれからについて
- 

### 7 人口減少対策について

- (1) 国の考える少子化対策と、県市連携について
  - (2) こどもたちの未来について
-

8 市民生活を支える下水道について

- (1) 来年度の下水道使用料はどうか。
  - (2) 近年の豪雨災害に対する備えはどうなっているか。
- 

- (3) 今後の下水道事業について
- 

9 西区の生かし方について

- (1) 海を生かした区おこしについて
  - (2) 区連携市村連携について
- 

- (3) これからの西区について
- 

10 中央区の未来について

- (1) 水辺を生かした中央区の進化
  - (2) 沼垂を起点とした中央区の発信の実績
  - (3) 沼垂荘の屋上への津波避難階段の設置について
- 

- (4) これからの中央区について

6 松下和子（一問一答）

1 若い女性の県外流出と女性活躍について

- (1) 県が実施した若年層への意識調査について
- (2) 働く場の魅力向上について
  - ア N i - f u l（ニーフル）について
  - イ 働く選択肢を増やすための支援を
    - (ア) デジタル人材の育成について
    - (イ) アンコンシャス・バイアスの解消に向けて
- (3) 共働き・共育て推進事業について
  - ア 共育（トモイク）プロジェクトについて
  - イ トモイクシートの活用を

2 発達障がい児・者支援について

- (1) 5歳児健康診査について
  - ア 来年度の実施内容と今後の予定について
  - イ 本市の発達支援コーディネーターの配置状況は
  - ウ 発達支援コーディネーターの体制強化が必要では
  - エ 児童発達支援センターこころんについて
  - オ 就学相談の現状について（教育長）
  - カ 今後の区の教育支援センターの体制について（教育長）
- (2) 就労支援について
  - ア 障がい者就業支援センターこあサポートについて
  - イ 障がい者雇用支援企業ネットワークみつばちについて
  - ウ はたらくためのガイドブックについて

3 予防接種事務のデジタル化の推進について

- (1) 人に優しいデジタル化の推進を
- (2) 予防接種事務のデジタル化導入について
  - ア 進捗状況は
  - イ 導入に当たっての課題は
- (3) マイナンバーカードの保有について
  - ア 本市の保有状況について
  - イ 今後の目標は
  - ウ 乳幼児の保有率向上と今後の取組について

## 7 高橋三義（一問一答）

### 1 市長マニフェストについて

- (1) マニフェストの成果について
- (2) 平穏な日常を取り戻すことについて
  - ア 課題について
  - イ 液状化対策について
- (3) 持続可能なまちをつくることについて
  - ア 持続可能なまちのイメージについて
  - イ 中間評価について
  - ウ 庁内の行財政改革について
    - (ア) 必要性について
    - (イ) 庁舎の集約について
    - (ウ) 外郭団体について
- (4) 新潟の明るい未来を切り開くことについて
- (5) 活力ある日本海側の拠点都市について
  - ア 地の利を生かすことについて
  - イ 強みである農と食による農家所得向上対策について

### 2 本市の課題について

- (1) 公共交通の確保について
  - ア BRT方式廃止後の計画について
  - イ バスの減便について
- (2) 新潟三越跡地建設補助金について
- (3) 検証について
  - ア 評価と効果の検証について
  - イ データによる政令市との検証について

### 3 教育について（教育長）

- (1) 多忙化について
- (2) データによる検証の活用について
- (3) 研修団体について
- (4) 教育の喜びについて

## 8 野口光晃（一問一答）

### 1 街区単位の液状化対策について

- (1) 自治会単位の説明会の現状の受け止めについて
- (2) 意向確認アンケートについて
- (3) 地籍調査について

### 2 防災について

- (1) 情報収集の体制強化について
  - ア 現状と課題について
  - イ 新潟市LINE公式アカウントの防災機能について
- (2) 災害備蓄品管理におけるデジタルの活用について
- (3) 自家用発電機について
  - ア 避難所の現状について
  - イ 消防局と消防署の現状について（消防長）
  - ウ 市民病院の現状について（病院事業管理者）
- (4) 中小企業におけるBCP（事業継続計画）について
  - ア 現状と課題について
  - イ 今後の取組について
- (5) FCP（家族継続計画）の現状と課題、今後の取組について

### 3 小学校のプール授業について（教育長）

- (1) プール授業の必要性について
- (2) 猛暑による近年のプール授業の状況について
- (3) 小学校でのプール授業を行う上でかかる経費について
- (4) 民間委託について

9 林 龍 太 郎 (一問一答)

1 市長が目指す都市と田園が調和し暮らしやすい新潟市実現に向けて

- (1) 農村で生活する市民、農業者を守っていくために
- (2) 農業振興事務を集約した背景と目的について
- (3) 農地政策室設置後の状況について
- (4) 農地政策室が担う地域計画と圃場整備事業の状況について
- (5) 今後の農業、農村、農地利用に対する課題への対応について

2 食と花の銘産品を荷物専用新幹線で東京へ

- (1) これまでの取組と今後の展開は
- (2) 荷物専用新幹線利用により本市の農業振興策にもたらすと思われる効果と現状及び今後において考慮される課題は

3 秋葉区児童館について

- (1) 設置場所として新津健康センターを選定した理由
- (2) 児童生徒や保護者の声について
  - ア 児童生徒並びに保護者の声をどのように聴いているか。
  - イ 聴いた声を児童館の設置にどのように反映していくのか。
- (3) 児童館へ通いづらい地区の児童生徒たちへの対応

4 北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けて

- (1) 高市早苗政権に期待すること。
- (2) 市役所本庁舎、各区役所に署名台を設置し署名簿の備付けを
- (3) 公用車にブルーリボンを

## 10 石附 幸子 (分割質問)

### 1 専属舞踊団Noism Company Niigataとレジデンシャル制度について

- (1) 本市の文化政策への評価と、金森穰芸術監督の功績への評価について
- (2) これまでのNoismの活動成果は、Noismやりゅーとびあだけのものではなく、本市が20年以上かけてやってきたことでもあるという認識について

- 
- (3) 2期10年の上限は文化芸術の振興と発展、発信になじむのか。

### 2 街区単位の液状化対策について

- (1) 自治会単位の説明会の進捗状況と主な意見について
- (2) 100%合意など住民の理解は得られているか。
- (3) 住民の意見を受けての制度の変更と今後の見通しについて

### 3 ペロブスカイト太陽電池がもたらす再生可能エネルギーのさらなる推進について

- (1) 東京大学先端科学技術研究センターとの協定締結について
  - ア 協定に至るまでの経緯と、新潟が選ばれた理由
  - イ 協定の具体的な内容と、今後どのような形で展開を予定しているのか。

### (2) ペロブスカイト太陽電池社会実装推進事業について

- ア 本事業の目的と事業内容について
- イ この事業を単なる実証レベルにとどめるのか、将来的な本格実装を視野に入れているのか。

### (3) ペロブスカイト太陽電池の本市での活用モデルについて

- ア 農業分野での活用、アグリ×エネルギーについて
- イ 防災拠点のモデルとして坂井輪中学校での活用について (教育長)

### (4) 産業政策としての展開について

### 4 孤立させない妊産婦支援体制について

- (1) 緊急避妊薬、アフターピルについて
  - ア 緊急避妊薬のスイッチOTC化への経緯とそのメリットについて
  - イ 行政・支援機関、医療機関との連携体制の構築と周知、広報について

- 
- ウ 16歳未満や性暴力被害者への対応について

- 
- (2) 望まない妊娠を防ぐために包括的性教育をさらに進めることについて (教育長)

(3) 妊産婦等生活援助事業について

ア 支援を必要とする妊産婦のニーズと当事業の必要性をどう捉えるか。

---

イ 新潟市母子生活支援施設の活用について

## 11 小野照子（一問一答）

### 1 新潟駅万代広場完成による都市機能の充実と拠点性の向上について

- (1) 花とみどりのプレイベントの戦略的位置づけは
- (2) 管理の現状と広場整備のコンセプトは
- (3) 広場完成後、エリアマネジメントの観点から民間活力を積極的に導入すべきと考えるがどうか。
- (4) 駅を中心としたウォーカブルシティへの転換を明確に打ち出すべきと考えるがどうか。
- (5) 広場から鳥屋野潟南部への公共交通機能の強化、延伸について、万代広場整備の効果をどのように波及させる考えか。

### 2 学校給食について

- (1) 本市の基本的な認識と役割は（教育長）
- (2) 保護者アンケートの結果をどう受け止めるか。（教育長）
- (3) 給食費の地域差をどのように認識し今後どうあるべきと考えるか。（教育長）
- (4) 負担軽減と質向上の両立をどのように考えるか。（教育長）
- (5) 地場産食材調達時の品質確保について（教育長）
- (6) 令和8年度当初予算案の方針について

### 3 鳥屋野逆ダケの藪の地域資源としての活用と官民連携による運営管理について

- (1) 地域資源としての価値をどのように評価しているか。
- (2) 鳥屋野逆ダケの藪の維持管理体制の現状は
- (3) 行政による維持管理中心の保全型に限界が来ていると考えるがどうか。
- (4) 竹明かりナイトについて
- (5) 行政と地域、民間とが共創する官民連携型モデル移行への見解は

## 12 内宮貞志（一問一答）

- 1 分煙と喫煙所設置について
  - (1) 分煙について
  - (2) 喫煙所の設置について
  
- 2 災害備蓄品（食料など）について
  - (1) 保存期限切れの入替えと活用について
  
- 3 小須戸橋で実施した災害対応訓練について
  - (1) 訓練実施後の結果、考察について
  
- 4 農業政策について
  - (1) 元気な農業応援事業、令和8年度予算について
  - (2) 令和8年度における新規就農者等の確保・育成施策について
  - (3) 種子の確保について
    - ア 種子の確保は喫緊の課題ではないか。
    - イ 農業活性化研究センターなどの機関で取り組めないか。
  
- 5 婚活支援の取組状況について
  - (1) 取組実績について
  - (2) 取組の周知について
  
- 6 本市のホームページについて
  - (1) ホームページ利用者アンケートの結果、考察について
  - (2) リニューアルについて

## 13 串田修平（分割質問）

### 1 拠点性向上の取組について

- (1) 新年度予算における拠点性向上の最優先項目は何か。
  - (2) 工業系用地選定の取組状況と今後のスケジュールについて
  - (3) 新潟中央環状道路の進捗と今後の展望について
  - (4) 新駅、仮称江南駅と信越線跨線橋建設の促進について
- 

### 2 ペロブスカイト太陽電池の取組について

- (1) 本市における取組の現状と今後の展望について
  - (2) 東京大学先端科学技術研究センターとの協定書について
- 

### 3 農業政策について

- (1) 米の増産から一転、生産調整への猫の目農政についての見解は
  - (2) 需要に応じた生産とは、どのように解釈しているか。
  - (3) 高温耐性品種の普及と再生二期作について
- 

- (4) 農地基盤整備の促進について
  - (5) 地籍調査の取組について
- 

### 4 教育課題について（教育長）

- (1) 地域クラブ活動推進の取組と今後の展望について
- (2) 不登校対策について

14 東村里恵子（一問一答）

1 若者や子育て世代に選ばれるために

(1) 公共施設再編について

- ア 「R e : スタート」の状況
- イ 既存施設を活用したこどもの居場所づくりに向けての市長の思い
- ウ 地域対話に若者の意見も反映を

(2) 生成A I の活用について

- ア 本市の認識と現状
- イ 若者の意見収集や分析にA I を活用してはどうか。
- ウ 具体的な活用方法と今後の展望

(3) 移住・定住促進と魅力発信について

- ア 若者に向けた魅力の発信について
- イ 市内就労の促進について

2 本市の魅力のブラッシュアップについて

(1) 文化、スポーツの継承と未来

- ア 文化財の保存と活用
- イ 郷土ゆかりの偉人や作家の位置づけ
- ウ スポーツ選手の育成と競技力向上について

(2) ラムサール条約湿地都市として

- ア プロジェクトチームの取組と課題
- イ 世界湿地都市ネットワーク市長会議に向けた事前準備の状況
- ウ 今後のビジョン

1 本市の文化振興施策について

- (1) 新年度予算における文化・芸術振興施策とは
- (2) Noism Company Niigata とレジデンシャル制度
  - ア Noism Company Niigata のこれまでの活動の評価について
  - イ レジデンシャル制度における任期上限の撤廃について
  - ウ レジデンシャル制度における団員、スタッフの扱いについて
  - エ 専用スタジオについて
  - オ 契約スタッフを財団職員にすることについて
- (3) Noism Company Niigata と本市シビックプライドの醸成
  - ア 経済、観光との接続について
  - イ 教育、福祉との接続について
- (4) 坂口安吾を用いたまちづくりについて
  - ア 安吾賞、ニイガタ安吾賞が耕してきたもの
  - イ 安吾風の館の再館について
- (5) 本市の歴史・文化的アイデンティティーとシビックプライドを醸成するため、中長期的視点に立って歴史、文化、芸術を基にしたまちづくりを展開するべきだと考えるが本市の考えは

2 本市の安心、安全な道路空間づくりについて

- (1) 今年予定されている道路交通法の改正について
  - ア センターラインの有無に関わる速度制限の変更、区間、総延長、箇所数
  - イ 速度制限の変更に係る地域住民との意見集約と合意形成について
  - ウ 中央線、外側線の維持管理について
- (2) 第12次新潟市交通安全計画について
  - ア 計画のポイントは
  - イ ゾーン30の設定の拡大計画について
  - ウ 市街地の幹線道路の無電柱化について

## 16 飯塚孝子（分割質問）

### 1 地域医療について

- (1) かかりつけ医の増減状況と病院の現状認識について
  - (2) 高齢化の進展に対応できる救急医療は一極集中型ではなく居住地に近い行政区対応の救急病院の支援を強化して維持、存続するべき。
- 

- (3) 後期高齢者への資格確認書の全員交付を継続すること。
- 

- (4) 高額療養費の引上げ及びOTC類似薬の保険外しの撤回を国に求めよ。
- 

### 2 高齢者の福祉と保健について

#### (1) 在宅介護者の支援について

- ア 介護保険サービス未利用者の実態・ニーズ調査が必要と考えるがどうか。
  - イ 家族介護慰労金対象者を要介護3以上に拡大し、介護保険サービス利用者も対象とし、所得制限を撤廃すること。
  - ウ 紙おむつ給付対象は介護認定調査票の排せつ及びズボンの着脱の要介助者に要件を見直し適応対象者を拡大すること。
- 

#### (2) 地域包括支援センターについて

- ア 相談窓口閉所の土日祝日の対応について
  - イ 地域包括支援センター委託料見直しの考え方について
- 

#### (3) 認知症リスクの早期発見と対策について

- ア 難聴、運動不足、高LDL-C等が認知症発症の関連性が高いことが指摘され早期の対策が発症予防に寄与することの認識について
  - イ 聞こえのチェックリストを特定健診時に活用し軽度難聴の早期発見と専門医への受診の仕組みを早急に取り組むべき。
  - ウ ハイリスクの加齢性難聴高齢者への補聴器装着を推奨するために75歳以上を補聴器購入助成の対象とするべき。
- 

### 3 5歳児健診と就学後の支援について

- (1) 5歳児健診の目的と課題について
  - (2) 特別支援学級に在籍する児童生徒数が急増している背景と要因について（教育長）
  - (3) 低学年のさらなる少人数学級化と配慮が必要な子ども対応の加配教員を配置し、通常の学級をインクルーシブな環境に整備して支援を（教育長）
- 

### 4 香害・化学物質過敏症対策について

- (1) 香害、化学物質過敏症に対する認識と相談窓口の設置について

- (2) 香害について市報やポスター掲示等で市民啓発を推進し、柔軟剤や香りつき合成洗剤による健康被害に対する正しい理解と自発的無香料化を促すべき。
  - (3) 学校や公的施設、医療機関、福祉施設等は、職員や利用者への啓発とともに無香料化を図るべきと考えるがどうか。
- 

#### 5 乳がん検診について

- (1) 医療機関委託対象者を70歳以上に拡大し通年受診の機会を保障すること。
- (2) 30・40代の乳がん検診は乳房エコー検査を加えた検診とすること。

## 17 小泉 伸之 (分割質問)

### 1 人口減少社会に対応した都市構造の再設計と令和8年度予算について

- (1) 近年の急速に進む少子化、人口減少と急増する外国人をどのように認識しているのか。
  - (2) 令和8年度予算では、人口減少を前提とした本市のまちづくり等の都市経営及び市政運営をどのように再構築しようとしたのか。
- 

### 2 賢く縮む改革と行政の覚悟について

- (1) 区の再編、統合について
  - (2) 公共施設のこれからについて
  - (3) 上下水道の統合について
- 

- (4) 学校適正配置の状況と今後の取組及び学校名について (教育長)
  - (5) 社会教育の効率化について (教育長)
- 

### 3 業務の効率化について

- (1) A I 等活用戦略について
    - ア D X化及びA I活用の状況、業務改善効果、評価について
    - イ 新年度に予定するA I・D X関連事業の導入計画、今後の活用方針及び人材育成の考え方について
    - ウ E B P Mの推進に向け、政策形成や財務部門におけるA I活用の可能性について
- 

#### エ デジタル商品券の発行について

---

- (2) 窓口業務改革について
    - ア 窓口対応状況等調査結果の概要と、検討状況について
    - イ 書かない窓口の本市での導入計画の有無と課題について
- 

- (3) 市民通報の仕組みについて
    - ア 老朽化したインフラによる倒壊等の種類別年間事故件数は
    - イ 市民から寄せられている通報件数及び通報内容の内訳について
    - ウ 市民からの情報を活用し、巡回型から予防保全型への転換について
- 

### 4 市営住宅について

- (1) 全体の空室率。空室率が高い棟数。高い団地名は
  - (2) 空室が多くなった原因は
  - (3) 入居者の負担軽減策は
-

(4) 外国籍の入居者の現況と対策について

---

(5) 今後の市営住宅の設置及び経営方針は

---

5 学校及び幼児施設における給食について

(1) 小学校給食費無償化の取組について（教育長）

ア 単年度限りの措置か。継続する場合に必要となる条件、課題は

イ 小学校、中学校、市立幼稚園における、1食当たりの給食費の設定額、そのうち市が負担している補助額は

---

(2) 新潟市私立保育施設等食材料費物価高騰対策支援金によって、給食1食につき幼児1人当たりの負担がどの程度軽減される見込みか。

(3) 市立保育園において主食を含めた給食提供へ移行する考えと課題は

18 高橋 聡子 (一問一答)

1 多文化共生のまちづくりについて

- (1) 本市として市内の外国人労働者の実態把握の状況、人手不足解消に果たす役割について
- (2) 受入れ側の課題を把握する調査やヒアリングについて
- (3) 生活上の困り事など課題への対応や地域との関わりについて
- (4) 多文化共生推進アクションプランの取組状況について
- (5) 新潟市外国人との共生社会推進本部において各部局との連携状況について

2 認知症フレンドリーなまちづくりをどう進めるか。

- (1) 本市の高齢化、認知症増加の見通しについて
- (2) ケアの質向上と尊厳の確保について
  - ア 認知症の人の尊厳と意思を守るケアの本市の施策における位置づけ
  - イ ユマニチュード等のコミュニケーションの技法を活用したケアの質向上に向けた取組の必要性について
- (3) 介護人材の確保と定着への新年度の取組について
- (4) 認知症とまちづくり、デザインと共生社会について
  - ア 認知症に優しいデザインの取組について
  - イ 市の施設や公共交通などから段階的導入と民間への展開について
- (5) オレンジイノベーション・プロジェクトを活用した認知症の人本人の参画による企業との連携について

3 不登校対策について (教育長)

- (1) 学校や公的機関、フリースクール等とつながりが持てていない不登校児童生徒数について
- (2) そのような不登校児童生徒に対する働きかけについて
- (3) 令和8年度のSSWの体制について
- (4) フリースクールの支援としての公民館の活用について

## 19 宇野 耕哉（一問一答）

### 1 民設の放課後児童クラブについて

- (1) 本市の指定管理施設等における昨今の賃金上昇や物価高騰に対する対応について
- (2) 放課後児童クラブの公設と民設での賃金上昇の現状について
- (3) 民設の放課後児童クラブの重要性について
- (4) 賃金水準スライド方式の導入について

### 2 サイバー攻撃や自然災害への対応について

- (1) 事前の備えについて
  - ア インシデント対応計画について
  - イ 職員のアクセス権限について
  - ウ コンティンジェンシープランについて
  - エ オフラインでの定期的なバックアップデータの保管について
- (2) 初動対応について
- (3) バックアップデータからの復元について

### 3 老朽危険家屋への対応について

- (1) 老朽危険家屋と判断される基準について
- (2) 住民が居住している危険家屋への関与について

### 4 部活動の地域展開について（教育長）

- (1) 指導者に求められる知識やスキルについて
- (2) 複数のクラブチームに参加することについて
- (3) 中学校体育連盟の大会への参加について
- (4) 相談窓口について

### 5 新潟市立夜間中学設置基本計画について（教育長）

- (1) 教員の勤務時間について
- (2) 入学対象者について
- (3) 入学学年について
- (4) 多様な背景を持つ生徒への対応について

1 学校給食の無償化について

- (1) 国が学校給食費の負担軽減に向けて支援することの意義をどう捉えるか。
- (2) 小学校給食の無償化がなぜ、令和9年度以降の国の支援基準額を超える部分の取扱いは保護者負担を基本に今後検討としているのか。(教育長)
- (3) 中学校給食の無償化は市独自で実施するべきと考えるがどうか。(教育長)
- (4) アレルギーや不登校など非喫食の児童生徒への給食費相当分の補助を行うべきと考えるがどうか。(教育長)
- (5) 必要な栄養や量、地産地消の食材の利用など質の高い給食は継続して担保することが求められると考えるがどうか。(教育長)

2 市営住宅について

- (1) 市営住宅の空き家について
  - ア 市営住宅の空き家戸数が増えている理由をどう考えるか。
  - イ 市営住宅の空き家修繕費を増やして、提供できる戸数を増やすべきと考えるがどうか。
- (2) 市営住宅居住者への支援について
  - ア 風呂設備のない市営住宅の支援について
  - イ 市営住宅の共益費の支援をするべきと考えるがどうか。
  - ウ 退去時の畳やふすまなどの修繕にかかる費用の軽減について

3 望まない妊娠等について

- (1) 望まない妊娠を防ぐための取組
  - ア 学校教育で性暴力は人間の尊厳を侵害する重大な犯罪であること、避妊、ジェンダー平等などの包括的性教育を推進し、さらに思春期健康教育を多くの学校で実施することが必要と考えるがどうか。(教育長)
  - イ 緊急避妊薬の周知を強化するべきと考えるがどうか。  
(市長部局、教育委員会)(教育長)
- (2) 望まない妊娠が起こった場合の対応
  - ア 「にんしんSOS」相談窓口を新設するべきと考えるがどうか。
- (3) 女性相談支援員について
  - ア 知識や経験が必要な女性相談支援員は常勤職員にするべきと考えるがどうか。
  - イ 望まない妊娠への相談を含めたリプロダクティブ・ライツの観点などの研修の充実を図るべきと考えるがどうか。

4 部活動の地域展開について (教育長)

- (1) 生徒、保護者への地域クラブ活動に関する費用の負担軽減のための支援をするべきと考えるがどうか。

- (2) 就学援助制度で中学校の対象に地域クラブ活動に関わる費目を追加するべきと考えるがどうか。
- (3) 本格的な部活動地域展開を行った後、改めてアンケートなどを行い、生徒、保護者が現場で抱える課題を抽出するべきと考えるがどうか。